



国民春闘共闘

2022年度 第10号
2022年1月17日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

1・15 キックオフ集会

ケア労働者の
大幅賃上げ
ACTION
Zenroren Shuntokyo

仲間増やし、労働組合に結集して

大幅賃上げ必ず！



国民春闘共闘・全労連は1月15日、「ケア労働者の大幅賃上げアクションを成功させる1・15キックオフ集会」をオンラインで開催。各地方や組織で視聴会場なども設置され、YouTube 視聴も含めて241人が参加しました。

単産と地域が一体となって前進を勝ち取ろう



主催者あいさつで全労連の清岡弘一副議長は現場で働く仲間の日々の奮闘を称えながら、「コロナ禍の中、細心の注意を払いつつ自らの感染リスクとも戦いながら国民のいのちと健康を守るため奮闘しているケア労働者の不当に低すぎる処遇の大幅な改善を求めて世論をつくってきた」とこの間の運動を報告。政府が示した改善水準に触れ「到底

納得できるものではない。ケタが1つ足りない」と指摘。「本日のキックオフ集会で意思統一をし、単産と地域が一体となって国民世論を巻き込みながらこの春闘で大きな前進を勝ち取ろう」と呼びかけました。

アクションを成功させてすべての労働者に波及を！

(基調報告・行動提起 黒澤幸一事務局長)

国民春闘共闘の黒澤幸一事務局長が基調報告。この間の取り組みをビデオとスライドで紹介しながら、「公共性の高いサービスを提供している職種の皆さんの実質賃金が、日本の低い賃金の中でも10年間でさらに下げられている」と指摘。「今回のアクションでケア労働者の大幅賃上げを獲得しながら、すべての労働者に波及させていく」と強調。「このアクションを成功させることの意義は大変大きい。職場でもしっかり位置づけていこう」と呼びかけました。



また、基調報告の中で各関係産別からそれぞれの制度の概要と取り組み方針が報告されました。

さらに、「事業者が申請しないと賃上げは実現できない。労働組合が要求して1月から手続きをさせること、2月から支給をさせることが重要」としたうえで、「(職場で)分断をさせないように他の職種にも支給させること」を強調し、今後の行動提起がされました(写真)。

仲間からの決意表明

看護、介護、保育、福祉、学童、自治体の各職場で奮闘する7人の仲間から発言がありました。各産業における職場や労働者をめぐる実情が報告され、その上で本アクションの成功に向けた決意表明がありました。

「数千円の補助金？ 馬鹿にするな！」

看護: 渡辺寿美子(わたなべ すみこ)さん 川崎医療生協労組

コロナ感染対策をしている病院で勤務している。現場では、低賃金のうえに「効率」を求められてきた。人相手の仕事に効率はそぐわない。

心身ともに疲弊しながら働いている。補助金数千円は馬鹿にするなとう感じ。現場に踏みとどまってがんばっている人たちに少しでも報いる賃上げを勝ち取っていきたい。





「全国の介護労働者は今こそ団結を！」

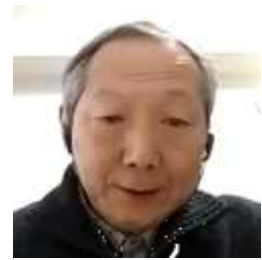
介護：島崎朋之(しまざき ともゆき)さん 沖縄医療生協労組

介護職場で賃上げが報道されているが、金額が少ないなど怒りの声が上がっている。さらに、介護保険サービスの窓口となっているケアマネは対象外。低賃金・人手不足は業界そのものが減少する。政府も介護の賃金が低いことを認めている。全国の介護労働者は今こそ団結をし、少なくとも全産業平均賃金になるよう訴えていきましょう。共にがんばりましょう！

「仲間と共に団結、連帯して奮闘したい！」

介護：小堀哲也(こぼり てつや)さん 生協労連介護部会

結婚した若い労働者から「家族を養っていきけるか不安」という声が寄せられている。コープ愛知には介護で働く仲間が 878 人いるが、20 代の若いメンバーは 28 人しかいない。低賃金のため募集しても人が来ない。春闘では毎年ベアを要求している。「介護報酬に基づく処遇」という壁をなかなか打ち崩せないでいるが、生協で働く仲間とともに団結、連帯して奮闘していきたい。



「若者が見通しをもって、やりがいをもって働けるように」

保育：梅原祐恵(うめはら ひろえ)さん 福保労保育種別協議会

保育士の処遇改善が示されたが、保育園で働いているのは保育士だけではない。保育園で働くすべての労働者が保育者。京都市は他都市よりも給与が高いとされている。そのことを誇るべきこととして制度を守るべき。なり手が少なく募集しても人が来ないが、その中でも「やりたい」と言ってくれる人たちの給与も保障し、若い労働者が見通しをもってやりがいをもって働き続けるためにもここで頑張らないといけないと思っている。

「健康で働き続ける職場にするために配置基準と賃金の引き上げを」

福祉施設：古谷有蘭(ふるや うらん)さん 福祉保育労東京地本かがやけ分会

6 か所のグループホームを 365 日続けるには人員が足りない。職員の仕事は多岐にわたり、すべてを丁寧に行おうとすると常に人員不足。子育て世代の賃金アップを訴えてもいるが、なかなか上がらない。非常勤職員の比率も多くなっている。職員の専門的知識を得るための機会を勤務時間内で確保し、健康で働き続けられる職場にするには、職員の配置基準と賃金の引き上げのために運動を取り組んでいきたい。





「今日を皮切りにがんばっていきたい！」

学童保育：立嶋峰文(たてしま みねふみ)さん 建交労学童保育部会

学童保育には、全国で3万か所、130万人の子どもが通っており、社会的にも基幹産業となっている。指導員の賃金は正規であっても最低賃金に近い状況。全国に15万人いる指導員の中で、週20時間以上勤務する指導員の半数が150万円未満。経験年数も5年未満が半数。今回の月額9千円の賃金改善、国が示しても自治体が予算化しないおそれがある。建交労では、各自治体に予算化を求めようと方針を出した。全国の仲間と意思統一のため、この後すぐにオンラインで意思統一会議を行う。これから勝負の時期になるが、今日を皮切りに頑張っていきたい。共にがんばりましょう！

「重責と活躍の評価は賃上げと増員しかない！」

保健師：梅桂子(とが けいこ)江東区職員労働組合保健衛生支部

ワクチン接種やコロナ対応、オリパラの対応など、国民からすれば「早くやって当然」と思われる仕事を、普段と変わらない人員で行ってきた。今年度、特別区は月齢級の改定もなく。一時金も削減。一時金は2年連続の削減。さらに、当局は今年の4月の人員調整案で感染症対策の人員を「一人減らす」とまで言ってきた。信じられない。一般の事務職員も時間外月45時間を超える人が続出し、中には月100時間を超える職員も出た。保健所、保健センターに勤務する保健師達の重責や活躍を評価するのは賃上げと増員しかない。私たちもがんばっていきたい！



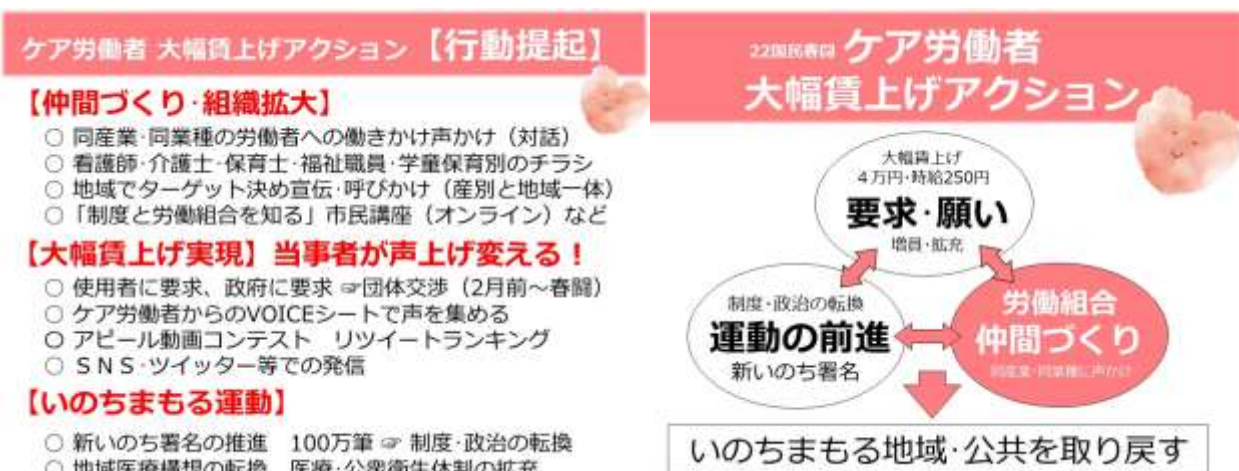
フロア発言

フロア発言では、愛労連の仲間から早くも各単産が集まりプロジェクトチームを結成したと報告。「単産を超えてケア労働者の賃上げを勝ち取ろうと議論ができた」、「増員と賃上げ要求はセット。この機会に増員と賃上げを要求しよう」と具体的な計画が検討されてきている。2/6 ローカルビッグアクション、3/10の一斉宣伝に当事者の声を持ち寄るため、アンケート活動にも取り組むこと、ケア労働者は圧倒的未組織であり、仲間をふやしていく意思統一もされたことが報告されました。

さらに新潟農協労組の仲間からは、「農協は、営農、購買、共済、貯金など幅広く事業を展開している。いま、政府・財界主導で協同組合が否定され、利益追求の農業が推進されている。仲間の雇用を守り、働き続けられる職場を目指すため、(農協の)医療介護の分野からも現状の打開として春闘を取り組んでいきたい！」と決意が述べられました。

【行動提起】

集会の中で提案された行動提起は、「仲間づくり・組織拡大」、「大幅賃上げ実現 当事者が声上げ変える」、「いのちまもる運動」を3本柱に、このあと完成予定の産別版変えるリーフも活用しながら、宣伝、呼びかけを行い、当該労働者との対話を深めること、労働組合がしっかり要求して団体交渉で賃上げを勝ち取ること、当事者からの声を集めること、新しいのち署名の推進（100万筆目標）、SNSを活用してのアピール行動などです。コロナ禍での運動となりますが、労働組合を強く大きくし、大幅賃上げの実現、配置基準の改善と人員増を勝ち取っていきましょう！



◆集会の中で紹介された学習ビデオはこちらから視聴できます（13分程度）。

単組・支部・分会等のミニ学習にご活用ください。

<https://youtu.be/Eyg5CenMA1U>



◆本アクションの成功に向けてPR動画コンテストを開催します。実施についての詳細は次ページをご参照ください。

2022年1月15日

ケア労働者の大幅賃上げアクションを成功させる PR 動画・写真コンテストの実施について

ケア労働者の大幅賃上げアクションを成功させるため、諸行動と同時に SNS（ツイッター）を活用して全国にアピールすることを目的に実施します。

(1)概要

ツイッター上に投稿可能な動画（最大 140 秒）や、写真や画像を、定められたハッシュタグとともにツイッターにてアップしてください。編集や加工などは問いません。

※PR 動画は 21 年総選挙時に俳優らが投稿した「私も投票します」動画をイメージしています。

動画の参考：<https://youtu.be/Ygtmbwj0sV4>



(2)投稿の内容と定めるハッシュタグ

現場の想いや実態を中心に、ケア労働者の「大幅賃上げ」、「配置基準の改善」、「人員確保」に関するアピール。

共通ハッシュタグ 「#すべてのケア労働者に大幅賃上げを」

(3)実施期間

2022年1月15日～2022年4月末日

(4)参加対象

国民春闘共闘および全労連加盟組織の組合員および関係者、加盟組織アカウント

(5)表彰について

各賞を準備し、部門ごとに表彰します。受賞者（組合）には賞金を用意します。

- ・動画部門 代表委員賞 労組アカウント賞 組合員個人アカウント賞 各 1 万円
- ・画像部門 事務局長賞 労組アカウント賞 組合員個人アカウント賞 各 1 万円

(6)選考について

労働組合アカウント部門および個人アカウント部門は、(2)で示した内容に沿ったもの、共通ハッシュタグが記載されている投稿の中でリツイート数が多い投稿の上位から選出します。結果は 5 月 11 日に東京・日比谷野外音楽堂で開催される国民春闘共闘中央大集会にて発表いたします。

主催・問い合わせ先 国民春闘共闘・全労連
東京都文京区湯島 2-4-4 03 (5842) 5611
natori@zenroren.gr.jp r-inoue@zenroren.gr.jp
担当 名取・井之上